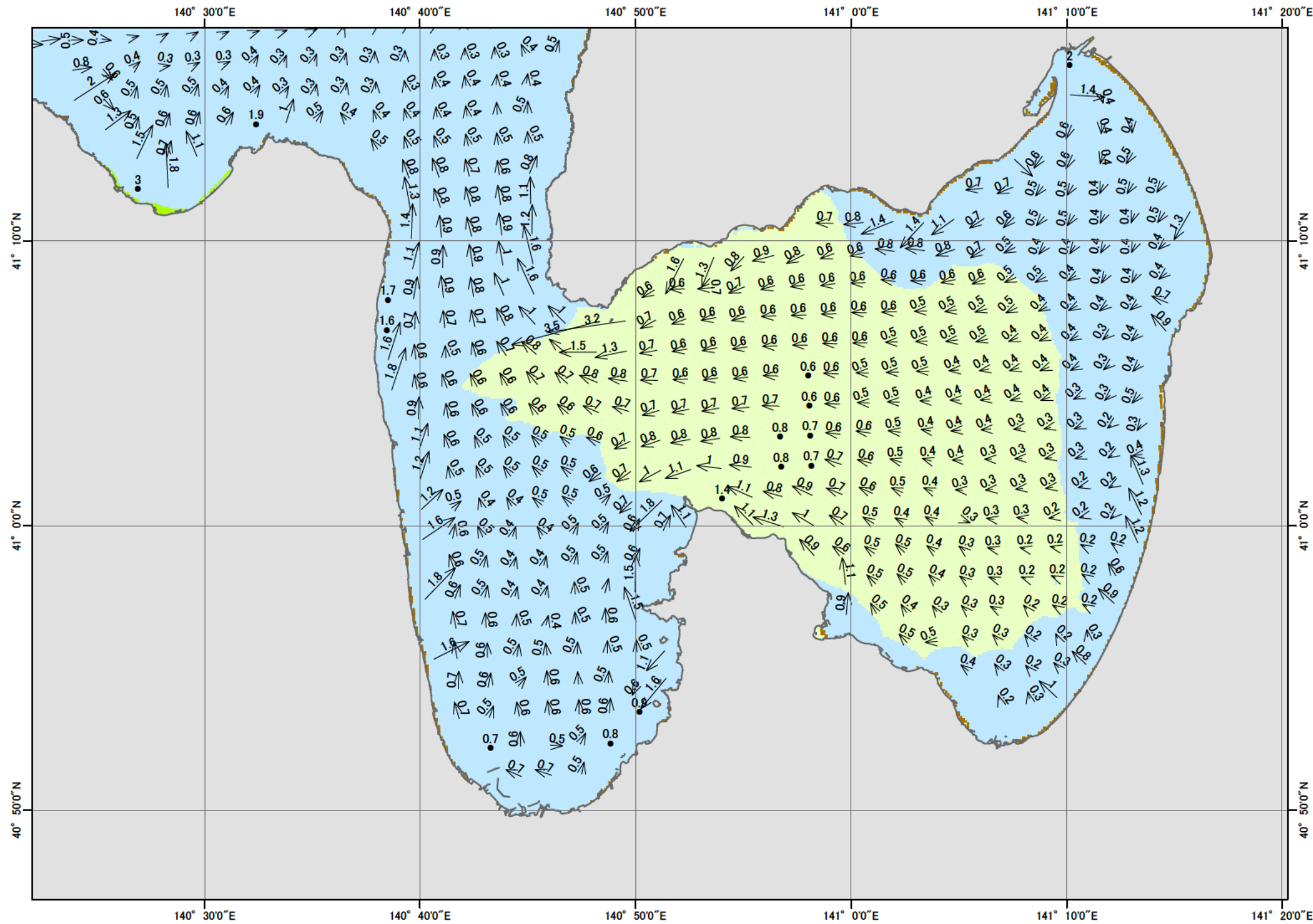




計算条件： 最低水面 (零位)
隆起量： 平均 -0.03m (-0.05m ~ -0.01m)
Zo： 0.37m
備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



凡例

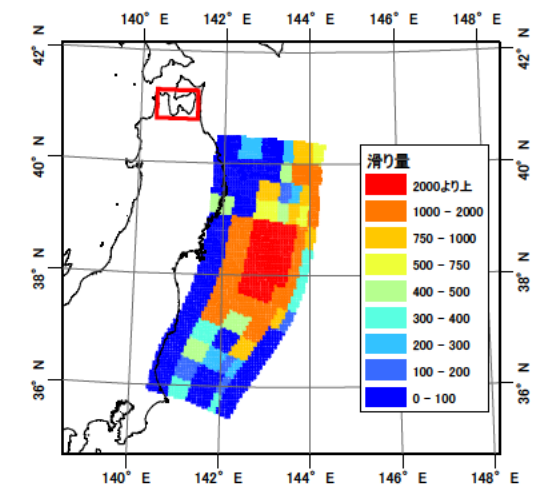
- 最大水位低下
 - 2~最大2.9m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満
 - 干出域
 - 露出域

引潮時最大流 [knot]

- 3 knot
- 2 knot
- 1 knot

- 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上の地点から表示した。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では、流速のみを表示した。

断層モデル



東北地方太平洋沖地震

モーメントマグニチュード Mw 9.0

本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会」(平成24年3月1日)により公表されたものである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
・海上保安庁が保有する水深データ

